

平成 19 年 9 月 25 日

各 位

神奈川県横須賀市小川町 14 番地 1
株式会社ネットワークバリューコンポネンツ
代表取締役 渡部 進
(コード番号：3394 東証マザーズ)
問合わせ先 取締役アドミニストレーション部
マネージャー 寺田 賢太郎
TEL 046-828-1804

株式会社シマンテックと国内販売代理契約締結のお知らせ

当社は添付資料のとおり、セキュリティベンダの株式会社シマンテックと販売代理契約を締結し、製品の国内販売を開始いたします。なお、本件による業績への影響は軽微であると見ております。

以 上

報道関係者各位

株式会社ネットワークバリューコンポネンツ

NVC、セキュリティソリューションプロバイダ、シマンテックの検疫ソリューション およびエンドポイントセキュリティソリューションの国内販売を開始 ～株式会社シマンテックと国内販売代理契約を締結～

記

株式会社ネットワークバリューコンポネンツ(本社:神奈川県横須賀市、代表取締役:渡部 進、以下略称:NVC、東証マザーズ:3394)は、株式会社シマンテック(本社:東京都港区、代表取締役社長:木村 裕之)と日本における販売代理契約を締結し、国内販売を開始します。

1. 国内代理店締結の背景

近年、ネットワークに対する攻撃の手法は高度化し、企業のデータを狙ったセキュリティ上の脅威はますます高まっています。さらに今日のコンピューティング環境では、ビジネスの多様化とユーザの拡大にともない、企業リソースへのアクセスに対する脅威にどのように対処していくかということが企業およびネットワーク管理者の課題となっています。

また、ユーザは決まった場所にいる固定のユーザとは限りません。

オンサイトおよびリモートサイトの従業員に加え、ゲストユーザー、契約社員、派遣社員などがおり、ネットワークも至る所に張り巡らされています。

このため、ネットワーク環境の安全性を維持するために、企業はかつてないほど大きな課題に直面しています。

企業のシステムにアクセスするエンドポイントの数や種類、アクセス方法が著しく増加、多様化するに伴って、リソースに接続する前だけでなく、接続後も継続的にエンドポイント^{#1}の健全性と状況を検証することが必要となります。

Symantec Network Access Control では、企業の LAN^{#2}、WAN^{#3}、無線 LAN^{#4}、または VPN^{#5}への接続を許可する前に、エンドポイントを確実にセキュリティ要件に合致させ、増大する企業データへの脅威を未然に防ぐことができます。

また、ほとんどのセキュリティ環境は、基本的に複雑で管理しにくいものです。

多様なベンダーからリリースされる単機能の製品を導入する場合、ネットワーク管理者は製品毎に設定方法や管理方法について理解・習得する必要があり、管理コストを増大させる原因となっています。また、複雑なシステムやソリューションは信頼性を著しく損なう要因となります。

Symantec Endpoint Protection 11.0 は、アンチウイルス^{#6}、アンチスパム^{#7}、侵入防止 (IPS)^{#8}、ファイアウォール^{#9}、アプリケーション管理、USB^{#10} 等のデバイスアクセス制御を統合することによって、業界最高レベルのエンドポイントセキュリティを提供する統合ソリューションです。また、Symantec Network Access Control と共通の管理コンソールにて一元的に管理することが可能なため、管理コストを低減させ、信頼性の向上を計ることができます。

NVC では、既存の有線、無線 LAN によるアクセスコントロールソリューションとシマンテックのエンドポイントプロテクションによる端末管理技術を組み合わせることにより、企業のセキュリティリスクを低減するソリューションを展開してまいります。

2. 契約メーカー製品概要

Symantec Endpoint Protection

Symantec Endpoint Protection は、従来のクライアント/サーバ用^{#11} のアンチウイルス製品の機能を継承し、さらに大幅に拡張する、次世代のエンドポイントセキュリティソリューションです。さまざまな先進のセキュリティ技術を統合することにより、既知の脅威、そしてセキュリティプログラムによる検出を逃れようとする手強い未知の脅威から、エンドポイントを包括的に保護します。

Symantec Endpoint Protection は、Symantec、Sygate、Whole Security および Veritas 各社の優れた技術を集結することにより、複数のエンドポイントセキュリティ製品の管理コストを低減します。また、業務を効率化し、プラットフォームに依存せず、単一ベンダーによるサポートが可能な、最善かつ完全に統合されたソリューションを顧客に提供します。さらに、8ヶ所のシマンテックセキュリティレスポンスセンター、4ヶ所のシマンテックセキュリティオペレーションセンター、および世界 180カ国にある 1億2千万台のシステムと 4万台以上のセンサーを有する Symantec の Global Intelligence Network による充実したサポート体制を保有しています。

Symantec Network Access Control

Symantec Network Access Control は、エンドツーエンドのネットワークアクセスコントロールソリューションです。既存のネットワークインフラと統合することにより、企業ネットワークへのアクセスを効率的かつセキュアに制御できます。

Symantec Network Access Control は、さまざまな方法でネットワークへ接続するエンドポイントに対して、セキュリティ要件に合致しているかどうかを検出して評価し、適切なネットワークアクセスを提供します。そして、必要に応じて矯正を行います。

また、エンドポイントのセキュリティ状況に変化がないかどうかを継続的に監視します。これにより、企業のネットワーク環境ではセキュリティインシデント数^{#12}が大幅に減少し、ITセキュリティポリシーを徹底することができます。Symantec Network Access Control によって、ネットワークアクセスコントロールの導入と管理、そして費用対効果の向上が実現できます。

3. NVC のソリューション

NVC はシマンテックの Symantec Endpoint Protection および Symantec Network Access Control を用いて、日々増大するセキュリティリスクを低減しながら、現在の利便性を損なわない最適なソリューションを提供し、導入前のセキュリティコンサルティングから、導入後の保守、技術支援、最新の情報にもとづく継続的コンサルテーションを提供する計画です。

4. シマンテックからのコメント

株式会社シマンテック 代表取締役社長の木村 裕之氏は次のように述べています。「Symantec Endpoint Protection 11.0 と Symantec Network Access Control 11.0 というシマンテックの最新の企業向けセキュリティ製品について NVC と販売代理契約を締結できたことを嬉しく思います。今日の企業のセキュリティプラットフォームの構築において、エンドポイントセキュリティの強化は、情報漏えいやセキュリティ侵害を防御するうえで非常に重要な課題となっています。シマンテックでは重要な企業の資産や情報を守るために努力していくとともに、セキュリティ環境の強化を図っている法人のお客様の支援を続けてまいります。」

5. その他

【株式会社シマンテックについて】

本社所在地	東京都港区赤坂 1-11-44 赤坂インターシティ 9 階
設立	1994 年 9 月 1 日
代表者	代表取締役社長 木村 裕之
事業内容	株式会社シマンテックは、米国シマンテック コーポレーションの日本法人として、日本市場のニーズや環境に適した製品の販売及びサポート、コンサルティングや教育コースなどを提供しています。
従業員数	470 名

【株式会社ネットワークバリューコンポネッツについて】

ネットワークバリューコンポネッツは、ネットワーク草創期から常に最先端製品を開拓してきたネットワークインテグレータです。ネットワーク製品の提供から、開発、コンサルテーション、構築・保守まで、最先端技術と、豊富な知識・ノウハウ、斬新な企画・発想力を駆使して、あらゆるネットワークフェーズをトータルにサポートしています。

本社所在地	神奈川県横須賀市小川町 14-1
設立	1990 年 4 月
資本金	366,609,550 円
代表者	代表取締役 渡部 進
従業員数	91 名
事業内容	コンピュータネットワーク関連製品の企画、開発、輸入、販売、ネットワークデザイン、構築、コンサルテーション、監視・管理
主要仕入先	Array Networks、Aruba Wireless Networks、BroadWeb、Crossbeam Systems、DASAN Networks、

Ellacoya Networks、Fortinet、H3C Technology、Isilon Systems、Ironport、Loglogic、Strix Systems ほか

URL <http://www.nvc.co.jp/>

【用語補足】

#1：エンドポイント

ネットワークに接続され、クライアントとして利用される装置の意。

#2：LAN

Local Area Network の略で、構内通信網の意。様々なケーブルなどを使って、同じ建物の中にあるコンピュータなどを接続し、データをやり取りするネットワークのこと。

#3：WAN

Wide Area Network の略で、広域通信網の意。回線や専用線を使って、本社と支店など地理的に離れた拠点にあるコンピュータ同士を接続し、データをやり取りすること。

#4：無線 LAN

Wireless LAN の略。無線通信でデータの送受信をする LAN のこと。

#5：VPN

Virtual Private Network の略。インターネットをはじめとする公衆回線をあたかも専用回線であるかのように利用できるサービス。

#6：アンチウイルス

メールや Web 閲覧のための通信を監視し、コンピュータウイルスが含まれていると削除するもの。

#7：アンチスパム

無差別かつ大量に一括して送信される電子メールを防ぐ手段のこと。

#8：侵入防止 (IPS)

Intrusion Prevention System の略。サーバやネットワークへの不正侵入を阻止するツール。

#9：ファイアウォール

Firewall の略。組織内のコンピュータネットワークへ外部から侵入されるのを防ぐシステム。

#10:USB

Universal Serial Bus の略。メモリやキーボード、マウスなどの周辺機器とパソコンを結ぶデータ伝送路の規格のひとつ。

#11:クライアント/サーバ

分散型コンピュータシステムの一つで、「サーバ」と呼ばれるコンピュータと、クライアントと呼ばれる PC が接続されたコンピュータネットワークシステムのこと。

#12:セキュリティインシデント

computer security incident。アクセス権を持たない人がコンピュータを不正に利用するような、コンピュータのセキュリティにかかわる事件・出来事のこと。

本件に関するお問い合わせ先

報道関係者の皆さま

マーケティング担当：佐伯 TEL 03-5783-1500 E-mail press@nvc.co.jp

投資家の皆さま

IR担当：寺田 TEL 046-828-1804 E-mail ir@nvc.co.jp